

予想や考察の質を向上させる理科指導の工夫

— 話し合い活動の中で、ルールをきめ、「リゆうカード」を取り入れて —

理科班
新井修一
(小学校教諭)

実践 3年理科

「日なたと日かげ」
「光をあてよう」
「明かりをつけよう」

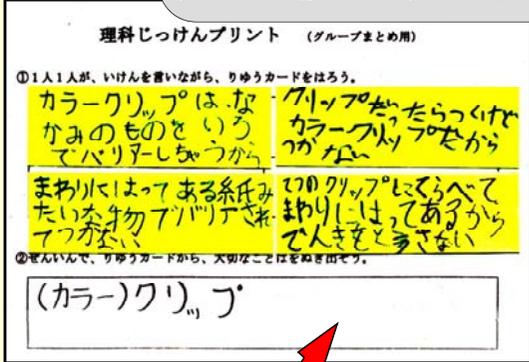
付箋紙を「リゆうカード」と名付け、1人が1枚「リゆうカード」を書き、グループ用のワークシートに貼らせた。

グループから出た意見は、黒板に貼ってクラス全体で話し合いをした。

多様な意見や考えが出るように、発問を工夫した。

課題

実験の予想や考察を書く場面で、根拠を考えずに、答える児童が多かった。



実験が複数ある時には、「リゆうカード」の色をかえた。



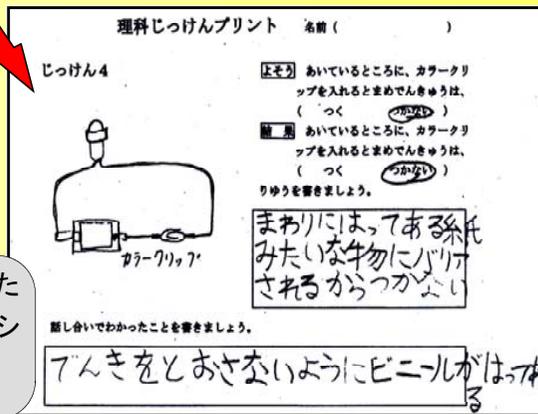
成果
実験の予想や考察を書く場面で、根拠をもって、答える児童が多くなった。

太陽があたっているから。

研究をはじめた頃の考察文の例 (リゆうカード)

研究をはじめた頃は、意見が活発に出なかった。

話し合いで、図を使ったり、良い意見が出ると褒めたりしていくと、深く考えながら、個人用のワークシートを書くようになった。



話し合いが活発に行われるようになっていった。

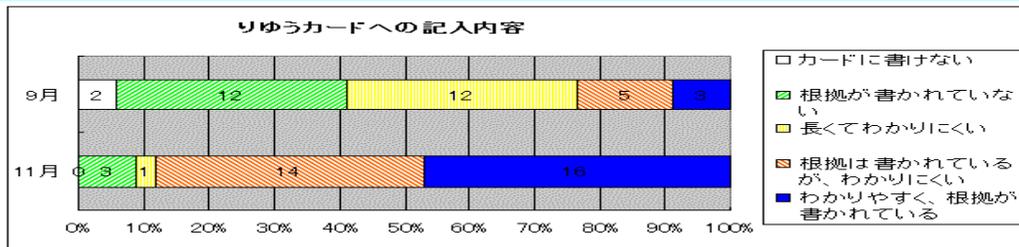
実験にも、以前より意欲的に取り組むようになった。

11月の考察文の例 (リゆうカード)

クリップのまわりに色がぬられておもしろいから。クリップのカバーのかわりになるから。

研究のまとめ

- 「リゆうカード」に考察を書ける児童が3ヶ月の実践で増えた。また、根拠を書くことができる児童も増えた。
- 「リゆうカード」の質が向上することにより、グループの話し合いも活発になり、予想や考察について、質の高い意見が、たくさん出るようになった。実験にも、さらに意欲的に取り組むようになった。



担当指導主事
義務教育研究係
大島 修